

## 探究ゼミ「日本の交通網」の取組みについて

【雲雀丘学園中学高等学校 教諭 板倉宏明】

本校では、教科・学年を越えて自由に学ぶ「探究ゼミ」という取組みを行っており、2024年度は22講座開講され、全校生徒の約3割がどれかのゼミに参加しました。昼休み・放課後・長期休暇などを利用し、教員が企画立案して生徒が積極的に学び、考え、発表、対外活動など実施しています。

その中で、探究ゼミ「日本の交通網」は、鉄道をはじめ交通問題を学ぶ目的で毎週木曜の昼休み 12:55～13:10 に会議室で開催しています。24年で6年目を迎え、24回実施しました。毎回、中1から高3まで20名弱の生徒が参加し、その時々の交通問題について活発に意見交換しています。

社会科教員であり鉄道研究部顧問でもある板倉が担当していますが、参加生徒は部員と部員以外が半々ぐらいです。毎回、交通に関する新聞記事などを持参し、生徒と意見交換を行い、その成果は学校のHPの「グローバル探究サイト」に毎回掲載しています。24年度は校外にも出かけ、福知山線脱線現場「祈りの杜」や川崎重工「カワサキワールド」の見学や、児童館での鉄道研究部の地域ボランティアの手伝いもしました。

年度末に、参加者全員がゼミで学んだことをポスターにまとめ、そのうち数名は、全学の発表大会「グローバル探究 EXPO」のポスターセッションで発表しています。以下のタイトルは「探究 EXPO」発表生徒の内容です。

- ・中1男子「地方鉄道の未来を救え」自治体と連携し、路線延長など攻めの必要を説く。
- ・高1男子「JR福知山線脱線事故について」事故現場見学して学んだこと。
- ・高2女子「大きく変わる！？日本の物流」貨物新幹線・モーダルシフト等新たな動き。
- ・高2女子「井原鉄道～鉄道も地域も活気づける第3セクター」地域活性化の取組み。

これからも、交通の視点でさまざまな社会問題を生徒と共に考えていきます。